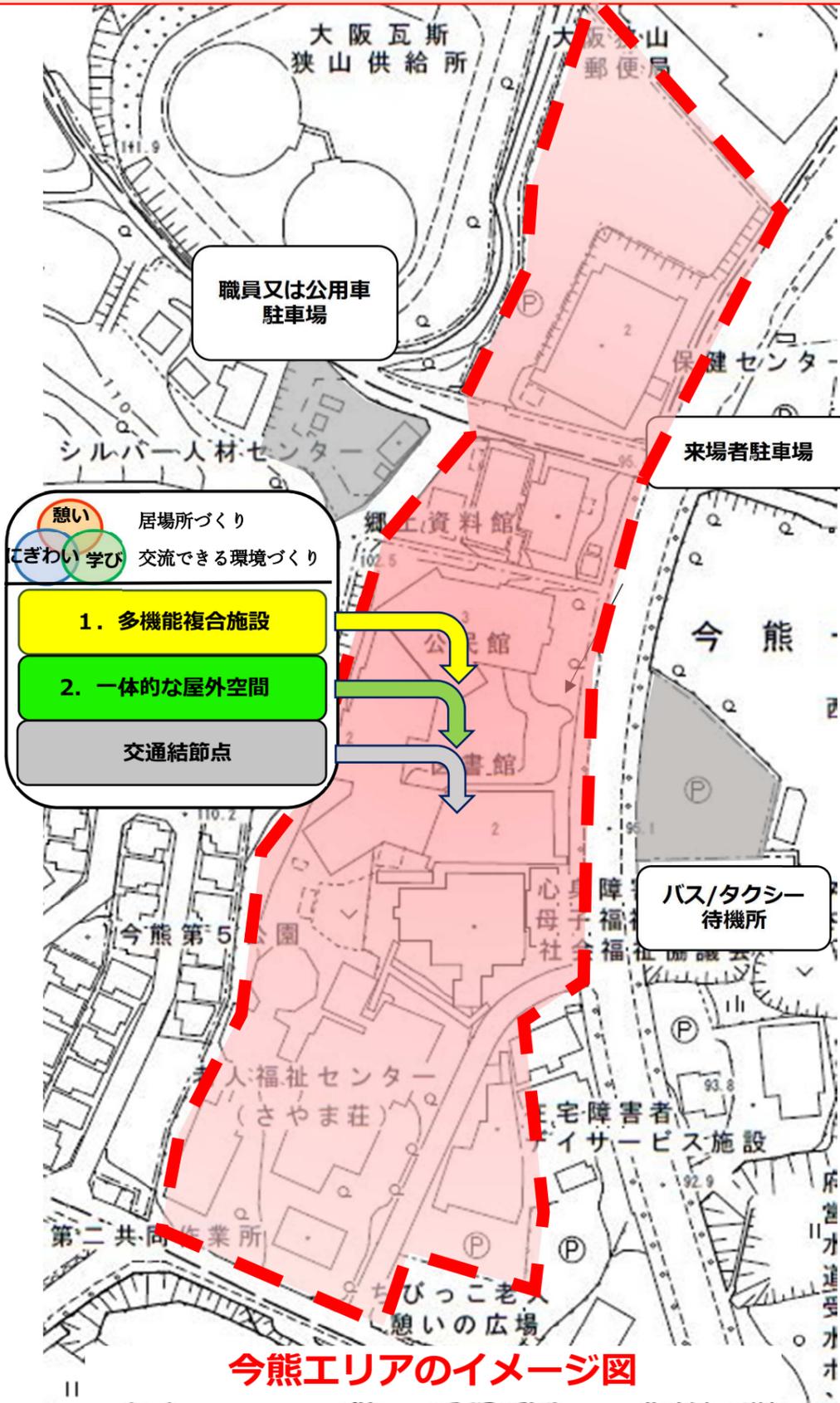


今熊エリアのイメージ

『憩い・にぎわい・学び』の居場所づくり



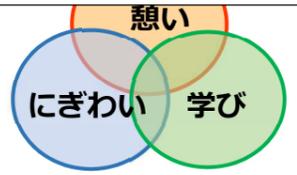
今熊エリアのイメージ図

※機能移転等の都合上、段階的な整備となることを想定。

資料 4(タウンミーティング 時の想定資料)

今熊エリアのイメージ

交通結節点や公共交通ネットワークによるアクセスや利便性の向上に加え、第五次総合計画で設定した、【福祉・文化拠点】として「憩い・にぎわい・学び」の居場所・交流できる環境づくりに向けてエリア一体での空間形成を目指します。

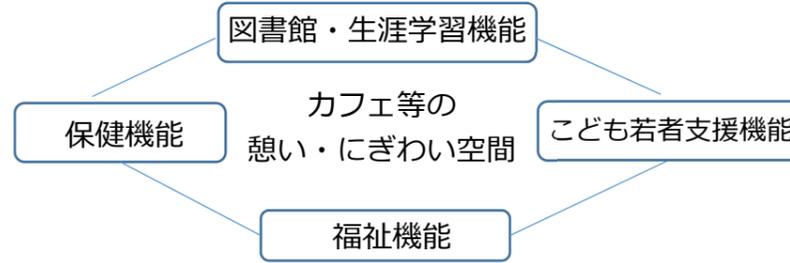


【1 多機能複合施設】

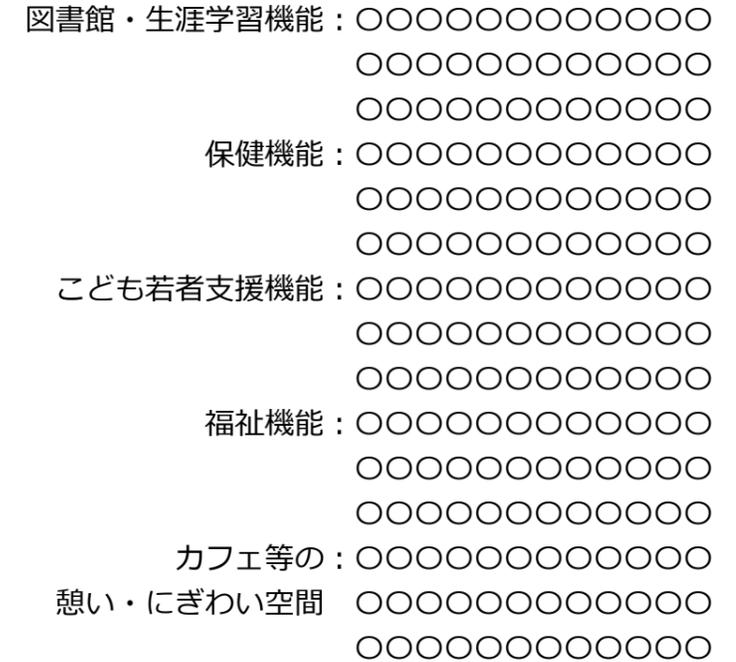
複合化機能

(図書館・生涯学習・市民活動・こども若者・保健・福祉)

施設機能のイメージ



複合化機能のイメージ



【2 一体的な屋外空間】

敷地内広場、雨天対応型屋外広場、公園等

規模：多機能複合施設と一体的な屋外空間

空間イメージ：施設利用者が賑わい、憩える屋外空間を整備。各種事業や市民による活動や、イベント等にも活用できるような、まとまった規模の広場を想定。

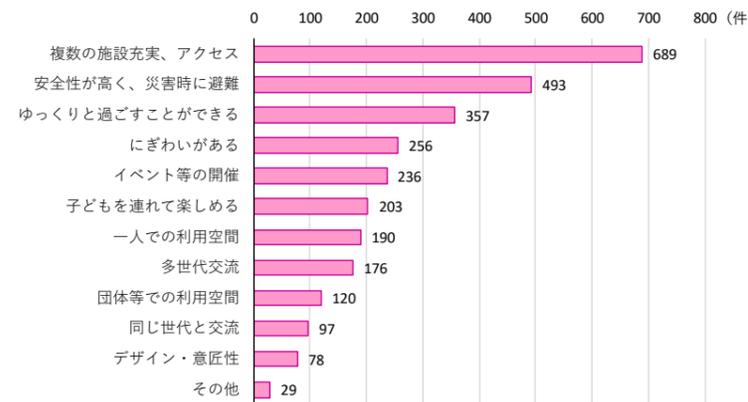
※事業手法 (1 多機能複合施設、2 一体的な屋外空間)

事業手法：調査中※¹ (PPP/PFI、市/民間単独事業)

市民アンケート結果 ※回答件数 1,055 件 (うち郵送配布 912 件、郵送配布以外 143 件)

年代、利用者等の加算集計は現在作業中

(設問 2) 今熊エリアの将来像



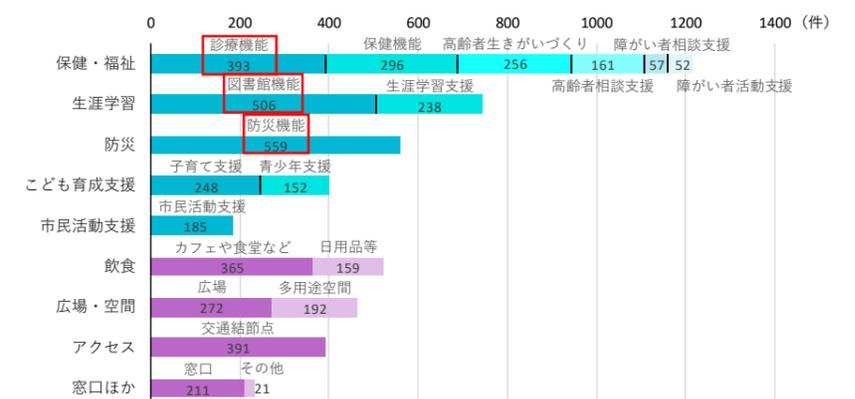
設問 2 【今熊エリアの将来像】

「複数の施設が充実しバス等交通手段がありアクセスしやすい」や「建物の安全性が高く、災害時に避難できる」、「ゆっくりと過ごすことができる」との回答が多くなっています。

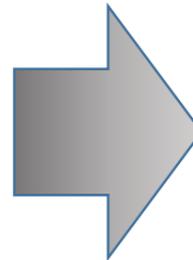
設問 3 【今熊エリアに充実させたい機能】

「防災機能 (災害時の避難所や防災活動に活用する場)」や「図書館機能 (図書の貸出、閲覧)」「診療機能 (休日診療、クリニックなど)」との回答が多くなっています。

(設問 3) 今熊エリアに充実させたい機能



現在の立地状況



将来の立地イメージ



棟数や配置場所・広場の規模等については、今後検討を進めます。